

0-11

オーガニックハーブパックによる新しい温罨法の有用性についての検討

A Study on the therapeutic heating by Organic Herb Pack

○小林 匠(ทาคุมิ โคมายาซ)¹⁾ 岡田 昌也²⁾ 堀江 俊裕²⁾

1) Jae-Tu 41 Herb Institute Thailand (เจ็ด 41 สถาบันสมุนไพรไทย) 2) さいたま柔整専門学校

Therapeutic heating is used at the medical, nursing and the other fields in order to improve the circulation, to ease and extinct the immflamation caused by activation of metabolism, and to reduce the patients' symptoms by adding heating stimulus on the body. This treat has many kinds of variations, but the materials or the effectiveness has not been controversial a little. This time we compared the effectiveness between the hot compress we've used and our new "Organic Herb Pack" originated with our laboratory to get the effectiveness of therapeutic heating with much easier way. The Organic Herb Pack could get consciously the same effectiveness on the therapeutic heating as the old one. The duration of the effectiveness could be permitted longer than the old ones.

【目的】

温罨法は身体に温熱刺激を加えることにより「循環障害の改善」、「新陳代謝活性化による炎症消退・鎮静」、「患者の自覚症状軽減」等を目的に医療や介護現場等で日常的に行われている。その方法は多種・多様であるが、素材や効果に関する検討はあまりなされていない。今回我々は当研究所考案・製作の簡便な操作で温熱効果が得られるオーガニックハーブパック「AromaTune®」を用い従来型のホットパックとその効果に関する検討を行った。

【方法】

対象:健康成人男子40名(ハーブパック群20名・従来型ホットパック群20名)

研究Ⅰ:ハーブパック(以下HP)および従来型ホットパック(以下LG)による温熱刺激を行い、10分間加温後、VASによる自覚的温熱効果を計測し、両群間での比較を行った。

研究Ⅱ:HPおよびLGを腰部へ10分間留置した後、撤去し「撤去時」・「撤去5分後」・「撤去10分後」・「撤去15分後」の4時点での皮膚放射温度をカスタム社製放射温度計IR-302を用い計測し、その経時的推移および群間の比較を行った。

【結果】

研究1:VAS上においてHP群はLG群と同等の値を示した。

研究2:ホットパック「撤去時」・「撤去5分後」・「撤去10分後」・「撤去15分後」すべてにおいてHPの放射皮膚温度はLGと比べ有意に高値を示した。

【結論】

オーガニックハーブを用いた温熱療法は従来型ホットパックと同等の自覚的温熱効果が得られることにより、温熱療法としての有用性を確認することができた。また効果持続時間においても従来型ホットパックと比べ有意に長く、ホットパック撤去後も持続的な温熱効果が得られることが示唆された。